



秋をテーマにした切り抜き新聞を作る参加者
|| 福井新聞社・プレス21(新谷貴之撮影)

「秋」が満載 新聞できた

新聞を通して表現力や思考力を身につけてもらおうと、福井新聞社はこのほど、小中学生向け「N

IE塾」の第1回講座を開いた。小学2〜6年の16人が参加し、記事の見出しを考えたり、秋をテーマにした「切り抜き新聞」作りを楽しんだりした。

講師は本社の徳島泰彦NIEコーディネーター。最初に参加者は、大野市内の園児たちがクリ拾いを楽しんだことを伝える福井新聞の記事を読み、見出し作りに挑戦した。徳島さんから「見出しは記事の



NIE塾 本社で開講

写真や見出し 切り貼り

『案内標識』。10文字ぐらいで内容がよく分かることが大切だよ』との助言を受け、子どもたちは「秋の味覚いっぱい」「かわいいうつりかおだした」などの言葉をひねり出していた。

この後、会場内に並べられた10月の福井新聞の中から、秋を感じる写真や見出しを切り抜き、画用紙に貼り合わせるオリジナルの新聞作りに取り組んだ。「ミカン狩り」や「越前柿の渋抜き」の記事を選び、「食育の秋」とタイトルを付けたり、少年野球やサッカー、バスケットボールの子どもたちの集合写真を集めて「秋 スポーツやってみよう」と書き込んだりするなど、参加者は工夫を凝らした新聞を完成させた。

普段から子ども新聞を読むのが

好きという鈴木結心さん(福井大附属義務教育学校4年)は「新聞について詳しく知りたいと思って参加しました。秋休みに体験したことを新聞にまとめるので、きょう学んだことを生かしたいです」と笑顔。作文を書く力を磨きたいと参加した福井市内の小6男子は「新聞を日ごろから読むようにして社会の問題に関心を持ちたいです」と話していた。

NIE塾は来年2月まで、毎月最終水曜の午後5時から6時半に開催。第2回は11月29日。今後、記事の読み比べや新聞作りを予定している。会場は福井新聞社本社。参加無料で1回のみ参加も可能。申し込みは同社みんなの新聞部 || ☎0776(57)5122。(宇野和宏)